

物流人材発掘事業

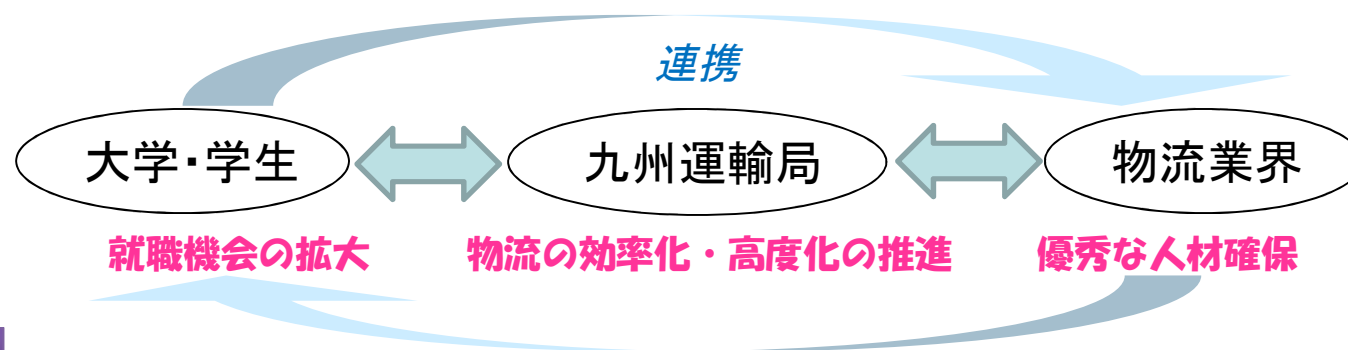
《物流人材発掘事業の目的》

物流産業は、わが国の生産や経済活動を下支えする大変重要な産業で、近年の経済グローバル化の進展に伴い、物流サービスの高度化・効率化および高付加価値化が求められており、これらに対応できる優れた人材の確保が不可欠となっています。

物流サービスの高度化や効率化は、荷主の立場から直接、或いは物流管理会社を介して、トラックなどの実運送業者と連携して取り組みを行っていることも多く、こうした荷主物流においても、優秀な人材確保は重要です。

平成29年7月に閣議決定された「総合物流施策大綱(2017-2020)」でも、物流現場の多様な人材の確保や高度化する物流システムのマネジメントを行う人材の育成は重要な課題とされています。

こうした状況のもと九州運輸局では、学生が物流の重要性、将来性、仕事の魅力などを正しく理解することにより、物流業界への就職を意識づけることを目的として、地元大学や物流企業と連携して、物流講座を開催しています。



開催の効果

- ・少子高齢化による労働力不足が懸念されている中、良質な人材を育成するための取組みは、益々重要となっており、実際に物流業界で活躍している物流企業や九州運輸局における物流施策の紹介を行う物流講座を開催することで、**将来の就職先として物流業界を強く印象づける**ことができる。
- ・さらに、物流講座において高い関心を示した学生に対して、**物流企業や行政機関へのインターンシップ**を実施する中で、物流の魅力や役割、その重要性を実際に体験してもらうことにより、**将来の就職先として物流業界を強く印象づけることにより、即戦力として人材の育成・確保**が期待できる。

物流人材発掘事業

総合物流施策大綱(2017年度～2020年度)

〈育てる〉

[6]人材の確保・育成 + 物流への理解を深めるための国民への啓発活動等

- ◇物流業は、わが国の生産や経済活動を下支える大変重要な産業で、近年の経済のグローバル化の進展に伴い、**物流サービスの高度化・効率化および高付加価値化**が求められており、これに対応できる**優れた人材の確保が不可欠**。
- ◇九州運輸局では、**物流産業の重要性や将来性、仕事の魅力などを正しく理解**することにより、優秀な学生が物流業界へ就職を希望するよう、地元大学や物流企業と連携して、平成19年度から、**九州の大学において物流講座を開催**。

物流講座の開設

九州運輸局では、物流について正しい認識をし、物流の重要性や将来性、仕事の魅力などの理解を深めることにより、優秀な学生が物流業界へ就職を希望するよう、地元大学、物流企業と連携して、平成19年度から、地元の大学において物流講座を開催しています。

本事業は、将来の物流業界を担う優秀な人材を開拓・発掘し、ひいては物流効率化の促進、物流業の発展に寄与することを目的としています。



平成30年度物流講座

場所:長崎県立大学

日時:平成30年6月18日

写真左:九州運輸局による講義

写真右:物流事業者による講義

【主な開催実績】

長崎県立大学、大分大学、西南学院大学、北九州市立大学、九州産業大学、中村学園大学、福岡大学

※順不同